



# 四季報

令和2年  
(2020年)  
第17号

広報編集室 TEL : 029-879-7351 FAX : 029-879-7352 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟 A408)

## 第72回みんラボカフェ



最新百円ショップグッズ  
目を見て触って体験してみませんか?



保温ポンチョの体験風景

保温ポンチョの体験風景  
ラシや伸縮する網戸用ワイパー・シリコン製伸びラップ等の使い方を体感しました。どの商品も使い手が感じた小さな願いを受けて開発されているように思いま

令和二年一月二十八日(火)に催されたみんラボカフェは、(株)大創産業の松田雄大氏の講演、及びワークショップでした。今や「ダイソー」と言った方がピンとくる方も多いと思います。ダイソーは百円ショップの先駆者で、本社は広島県東広島市です。ダイソーの商品は、文具・化粧品・手芸材料・キッチン小物・リビング用品・玩具・ガーデニング用品・食器・プラスチック製品・インテリア用品・電気小物・健康や浴用製品等、数え切れません。商品も、品質やデザインがどんどん向上している感があります。

した。例えば、防災用品として体感したコンパクトタオルは、一辺が3〜4cmの消しゴムのような形状ですが、水に浸すとハンドタオル状になり、百円で6〜8個入っているものです。同じ数量の一般的なタオルを防災グッズとして荷物に詰めるのと相当なスペースを占めることになるとでしょう。携帯下着は5枚入り、というよりも、小さく丸めて5個入りで百円です。このように、安価で工夫された商品の宝庫であることがわかりました。

ワークショップ後に、参加者の方から出された質問を紹介します。まずは、化粧品や食品の安全性についてですが、薬事法に則って作っている商品とのことでした。また、まとまった数の品物が必要な場合は店舗に予約すれば対応できる可能性があるそうです。要望としては、店内には多種多数の商品が並んでいるので、探している品物が見つけやすい工夫がほしいという意見がありました。その他、カレンダールの曜日表示等の要望がありました。さらに松田氏からも、「ダイソーにあつたら良いと思う商品はありませんか?」と質問を投げかけていましたので、ますます商品数が増えそうな気配です。

ところで、規模は少し小さいのですが、ダイソーの他にも百円ショップが数社あります。それぞれ扱っている商品のジャンルに特徴が見られて、利用頻度は増える一方です。百円ショップ恐るべしです。最後に、このみんラボカフェ開催後、程なく、新型コロナウイルス感染症が起きました。マスクはおろか除菌商品の類までドラッグストアから消えました。そ

の後、いろいろな店舗で高額で販売される事態になりましたが、ダイソーや他の百円ショップで、除菌シートがいつものように百円で販売されているのを見つけた時は「さすが!」と感心しました。安価で良い商品を開発するために並々ならぬ努力を続けている百円ショップにエールを送りたいと思います。(沼尻)

### 「幸せの黄色いレシート活動」と贈呈式

いつも「幸せの黄色いレシート」活動を応援いただきありがとうございます。



今年度の贈呈式4月11日は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、後日イオン様より連絡があり、1年間の実績により38,900円のギフトカードを頂きました。この助成金はみんラボ活動費として有効に利用させていただきます。

毎月11日の「幸せの黄色いレシート」の日には、今後とも、ご協力をお願い致します。(篠原、星、鵜川)



第8回みんなラボ総会は2月28日に会員及び関係者約30名出席のもと開催されました。2019年度の研究成果がポスターで掲示され、研究内容の解説や参加者との質疑応答が活発に行われました。総会では活動状況の報告や様々な意見が交わされ、つつがなく終了いたしました。その概要を以下の通り報告いたします。

## 2019年度活動報告

### ①みんなラボ登録会員について

現在約250名(54～92歳)  
つくば市中心に県南地域在住の高齢者(平均年齢74.64歳)が登録

### ②みんなラボカフェ

第65回(4/26)未来のスーパー…完全キャッシュレスの時代がやってくる (株)カスミ 高木健一氏  
第66回(5/21)アクティブな高齢者のための食事と電子レンジ活用術 秋田市管理栄養士(食navi)ステーション) 木村まゆみ氏  
第67回(6/28)スマートフォンの健康管理 富士通コネクテッドテクノロジーズ(株) 宮崎栄治氏

第68回(7/24)食べたいものを当てます!!表情と視線から興味・関心を推定する技術 沖電気工業(株) 赤津裕子氏

第69回(9/21)ニセ電話詐欺…その現状を知り、対策を考える 茨城県警察本部ニセ電話詐欺対策室 青木智也氏

第70回(10/30)変わりゆく図書館…ご一緒しませんか? 筑波大学図書館情報メディア系 溝上知恵子先生  
第71回(11/26)楽に立ち上がり、すっと動く…新しい乗り物から日常生活を考える 筑波大学システム情報系 江口洋丞氏

第72回(1/28)最新100円ショップグッズ…目で見て触って体感してみませんか? (株)大創産業 松田雄大氏

### ③2020年度みんなラボカフェ

(※総会時点での予定です)  
第73回・ドローンって何?無人航空機のある生活・社会について考えてみよう! つくばドローンスクール 中山氏

第74回・「見える電話」を見てみよう! (NTTdocomo)  
第75回・燃えにくい服はなぜ必要か(仮) (信州大学 若槻薫先生)

### ④コミュニティ活動

みんなラボ広報誌活動  
みんなラボ四季報第15号…10月1日発行

みんなラボ四季報第16号…4月1日発行

●「幸せの黄色いレシート」活動  
毎月11日イオンデー(イオンモールつくば)

●2019年度のみんなラボ新サークル・私の未来/みんなの未来を考える「未来の会」を一年間実施しました

●2019年度のみんなラボ活動…使いやささの検証と研究活動

●小型移動車と歩行者の間の「やりとり」を考える

●さまざまな家電製品と使いやささ&長期利用調査

●高齢者と若年成人による共同活動と対話研究…どんな風が良いことがあるの?何が難しいの?

●「対話」の訓練など認知心理学研究…文章のわかりやすさ、メニューのわかりやすさ、等

●放送大学で「みんなラボ」が教材に!

放送大学「ユーザー調査法」(2020年度)担当(高橋秀明)の第12回「実践研究」において、みんなラボが取り上げられることになりました!!

●2019年度事務局メンバー移動 (3月)

### ●離任者

●ラボマネージャー 渉外担当 松村富士子

●研究員…田中伸之輔、広瀬拓海、田中笑子

### ●事務局メンバー紹介

●ラボマネージャー 浜崎藍

●研究員 鷹阪龍太  
あんきり 安久絵里子

●「使いやさい」モノづくりを通して少しでも良い社会にしていましよう!! (本田)





総会・展示コーナーで「未来の会」活動デモンストレーション!

# 「ハッピーエンディングカード」ゲーム体験

2019年度、みんなラボ第8回総会の資料展示コーナーにおいて、「未来の会」が活動成果をユニークな形で公開しました。「未来の会」については、前号の「みんなラボ四季報」16号において活動内容を紹介いたしましたが、今回は「ハッピーエンディングカード」という媒体を使って、参加者が加齢に伴うリスク体験をしてみるというゲーム形式のプレイを行ってみました。

ゲームは9カテゴリーに区分された49枚のカードを使って、参加者(相談者)が主催者(質問者)のリードで、一緒にこれからのセカンドライフに起こりうることを疑似体験するという試みです。

9カテゴリーの区分は「1. 前向きな人生の取り組み 2. セカンドライフプランニングの取り組み 3. 病への備え 4. 介護・看取り 5. 終末期医療 6. 葬儀 7. 埋葬・墓 8. 財産を遺す 9. 思いを遺す」で、9種の区分カードの49枚には



具体的な説明がついています。これをめくってそのカードの内容に対して、「備えがある、またはなくてもいい」と思ったことにはYes。「備えができていない」ということにはNoの判

定をし、分類をしていく。そしてNoに区分されたカードのみを使い、Happy「備える必要がない、やる必要がない」とRisk「死ぬまでにやっておきたい」とに仕分けする。これによって、最後に相談者は、Riskに置かれた自分のカードを見て、今後、わが身に降りかかるかもしれないリスクがリアルに想像できるという、ゲーム形式での実験です。

これを相談者が、質問者のリードで仕分けることにより、これから自分の未来について考えたり、決めたりする必要のある事柄が、だんだん明らかになってくるという仕組みです。当日の「相談者」の結果を見ると、「4. 介護・看取り」と「5. 終末期医療」の問題がリスクとして一番多く取り上げられ、「死ぬまでにやっておきたい、やらないと後悔する」という大事な課題が大きく浮かび上がってきました。総会資料展示コーナーには当日、多数の参加者に対応する為、カード枚数を少なく8枚に簡略化して主催者側と参加者が相対してゲームを行うという方法とりましたが、正規に49枚のカードを使ってプレイしてみると、自分の未来に対する問題点がかなり明確にうかびあがってくると思います。この体験コーナーは、大変な人気で、多くの人に参加していただきました。(根岸)



## 離任挨拶

2020年3月をもって、ラボマネージャーの松村 富士子、研究員の田中 伸之輔、広瀬 拓海、田中 笑子の3名が離任いたしました。研究員3名の離任のご挨拶を掲載しましたのでご覧ください。(安久)

**田中 伸之輔** 私は8年間にわたりみんなラボで研究活動を行ってきましたが、2020年3月をもってみんなラボを離任することになりました。2020年4月からは、日立製作所、研究・開発グループに所属し、人の生活を支えるモノやシステムの研究・開発を行っています。みんなラボカフェや調査で耳にした、会員の皆様の「社会のため、未来のため、もっとこうしてほしい/こうしなきゃいけないよ」というご意見を少しでも実現できるように頑張っています。

**広瀬 拓海** 私、広瀬拓海は2020年3月に筑波大学大学院の博士課程を修了することになり、それと同時にみんなラボからも離れることになりました。私は、これまで主にコミュニティ活動の場で会員の皆様とお会いすることが多かったのですが、昨年度は短い期間ではあるものの、研究員としてみんなラボに参加しました。会員の皆様とお会いするたびに、皆様の身の回りのことへの問題意識の高さや、鋭い視点からたくさんの刺激を受け、多く

の気づきをもらってきました。このことは、私にとって大切な財産です。最後になりましたが、大学院に入学したばかりの頃から、長い期間にわたって会員の皆様にはお世話になりました。あらためてお礼を申し上げます。

**田中 笑子** 昨年8月から1年弱と短い間でしたが、研究員としてみんなラボカフェや、「話しかけ」に関する調査などを担当させていただき、大変お世話になりました。今は武蔵野大学看護学部講師として、保健師、看護師の育成と、地域の中で自分らしく暮らし続けるための健康科学研究に力を注いでいます。授業や学生支援も遠隔実施のため、慣れないツールに苦戦中です。誰にとっても「使いにくい」点を見だし、「使いやすい」を科学するみんなラボの意義を改めて感じています。至らぬ点ばかりの私でしたが、専門も経験も性格も多彩なみんなラボの皆様と縁あって一緒にできましたこと、人生の宝物です。本当にありがとうございました。



# 四季報

が置いてあるところ

## ■市役所・官公庁

つくば市役所・関係部署  
つくばみらい市役所  
牛久市役所  
守谷市役所  
阿見町役場

## ■筑波大学および病院関係

筑波大学  
筑波大学附属病院  
筑波メディカルセンター病院  
筑波記念病院  
筑波学園病院

## ■市・公共団体

つくば市社会福祉協議会  
みどりの風(旧つくば市民大学)  
つくば市民活動センター  
つくば市ふれあいプラザ  
阿見町中央公民館  
阿見町本郷ふれあいセンター  
阿見町君原公民館  
阿見町かすみ公民館  
阿見町舟島ふれあいセンター  
牛久市社会福祉協議会  
牛久市シルバー人材センター  
牛久市エスカードビル  
牛久市生涯学習センター  
牛久市ボランティアセンター  
牛久市中央図書館

## 編集者紹介

### 【みんラボ会員】

石橋、鷯川、篠原、東海林、  
田内、沼尻、根岸、星、本田

### 【筑波大学大学院生】

石井、岩根

### 【教員スタッフ】

原田、茂呂、葛岡、須藤

### 【みんラボ事務局】

浜崎、安久、鷹阪

## 事務局だより

みんラボ研究員の鷹阪龍太です。今回は緊急事態宣言下での生活の感想を書いてみようと思います。緊急事態宣言によって私が経験した最も大きな変化は「移動がなくなった」ことでした。打合せや研究会がインターネット上で開催されるようになり、自宅からの参加が可能になりました。このため、面識のある人とのコミュニケーションや、知っている研究分野についての情報交換は、これまでに比べて負担が少なくなりました。一方で、新しい人間関係を構築するのは難しくなったように思います。例えば、既によく知っている人とインターネット上で話をするのは簡単ですが、偶然居合わせた人と仲良くなるようなことは難しくなりました。また以前は、学会会場でたまたま目にした研究ポスターのおかげで、これまで知らなかった研究分野を新しく知ることがありましたが、インターネット上ではそのようなことは少なくなりました。

また、物に対する需要も変化しました。

これまでは頻繁に移動をしていたので、「電池が長持ちで」「コード類が少なく」「軽い」携帯用のノートパソコンを中心に使用していました。しかし、移動をすることがなくなると、持ち運びのしやすさよりも、「性能」や「節電」を重視してデスクトップパソコンを使用するようになりました。通信方法については、たとえコード類が増えてもデータの転送速度が速いことを、モニターについては、持ち運びがしやすいような画面が小さく軽いものから、目が疲れないように画面が大きく見やすいことを重視するようになりました。このように私自身がいろいろと変化を実感し、また社会が大きく変化していくのが身近に感じられた数か月だったようにも思います。

皆様はいかがでしょう。

(鷹阪)



## 編集後記

二〇二〇年七月に東京で開催される二回目の「オリンピック」。私たち国民は、オリンピックの成功を信じ、とても楽しみに待っていました。ところが、新年になって間もなく、新型コロナウイルスという目に見えない新しい感染症が、日本にも発生しました。人から人に伝染するということばかり、国民はパニックになり、恐怖を感じました。海外からの入国が禁じられ、国内の旅行も禁止になり、「三密」を避け、飲食店やデパートも閉店になりました。通勤ラッシュもなくなり、東京の街から人々の姿が消えました。サラリーマンの仕事はテレワークに切り替わり、学校も休校で授業もオンラインになりました。政府が

ら非常事態宣言が出されました。毎日感染者が増え続け、若い人から高齢者まで、死者もたくさん出ました。新型コロナウイルスを治す新薬の開発に力を入れる研究者や防護服を着用して患者さんたちを診察する医療関係者の努力もあり、PCR検査、抗体検査も一斉に始まりました。平和だった日本が、こんな状態になることを誰も想像していませんでした。高齢者の人たちは、サークル活動が中止になり、家で過ごす時間が長くなりました。体力や気力も減退しました。それでも三密を避けるなど、新型コロナウイルスに罹らないように一生懸命頑張りました。これからも頑張ります。

(鷯川)

## お問い合わせ

みんなの使いやすラボ

第17号 10月1日発行

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟A408)

TEL : 029-879-7351 (受付)月~金9時~17時

FAX : 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp